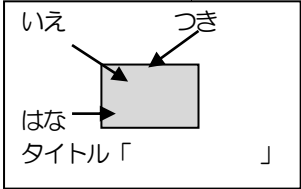
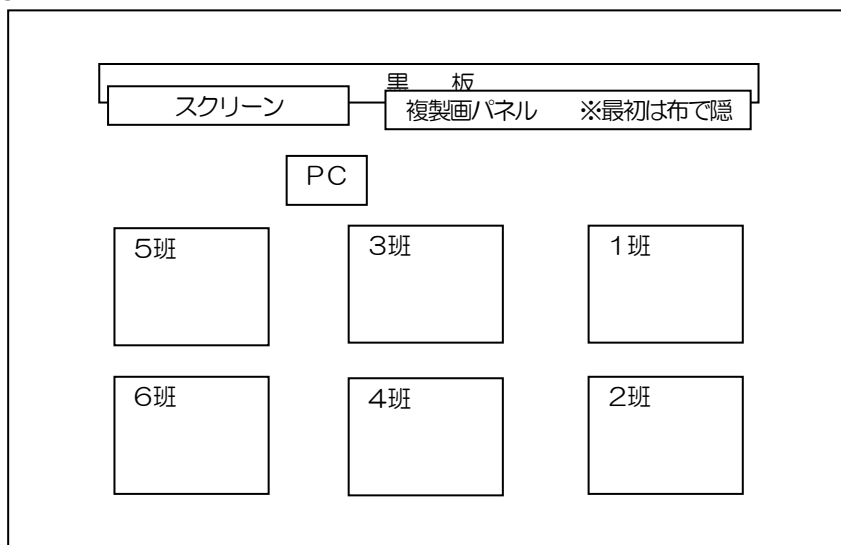


題材名	「みつめよう！シャガールさんのこの思い」【鑑賞】		
	作品：《二つの花束》 マルク・シャガール 1925年		
ねらい	○鑑賞を通して、想像を広げて絵の中の世界を楽しむ。 ○作者が絵に込めた思いを知り、感じたことを伝える。		
内容	導入：【美術館・画家紹介】 鑑賞の導入：【パズルを完成させよう！】グループでパズルを完成させる。 み る：【何が描かれているかな？】全体で《二つの花束》を鑑賞する。 知 る：【画家についてもっと知ろう！】シャガールの他の作品や制作の背景を知る。		
時 間	活 動	留意点（※）	準 備
：	準備		
：	導入：【美術館・画家紹介】 7分 近代美術館を紹介する。 シャガールに関するクイズを行う。 「この国はどこでしょう？」 「どの人がシャガールだと思う？」	  「これ、な〜んだ？」	☐ PC ☐ スクリーン ☐ パワーポイント データ
：	鑑賞の導入：【パズルを完成させよう！】 15分 ○《二つの花束》のパズルに取り組む。 「マルク・シャガールの絵をみたいと思いますが、ばらばらのパズルになっています！グループで協力して完成させて下さいね。」 →パズルが完成したら 「何が描いてあるのかな？」 →時間があれば 「見つけたものや感じたことをメモでかいてね。」 「グループで相談して、絵のタイトルを考えてみてください。」	※学年や実態に応じて、パズルのピース数に配慮する。（24 or 30ピース） ※パズルに取り組みながら、作品の細部をみられるようにする。 ※描いてあるものや色、作品の雰囲気について考えられるよう声かけをする。 ※実態に応じて時間があれば、見つけたものや感じたことをメモ用紙にかき込めるようにする。	☐ パズル
：			
：	みる：【何が描かれているかな？】 15分 ○《二つの花束》を全体で鑑賞する。 「今度はみんなで一緒に絵をみたいと思います。前に集まって下さい。」 ～対話による鑑賞～ ＊もう一度じっくりみてみよう。 ＊何が描いてあった？ 色の変化 形の再発見 ＊時間は何時ごろだろう？ 昼かな、夜かな？ ＊明るい家と暗い家 ここはどこだろう？ ＊この人は何をしていると思う？ ＊花をあげる時、もらう時は？ 気持ちの表現 ＊作者の育った背景などエピソード	※教室前方などに移動させる。 ※子供がみつけたもの、感じたことから鑑賞を進めていく。 （展開の例） ・街で何か起こったか物語をつくる。 ・作者はどんな気持ちでこれを描いたか気持ちを想像する。	☐ 複製画/パネル （大）
：	知る：【画家についてもっと知ろう！】 7分 ○シャガールの他の作品や制作の背景を知る。 ・画家の言葉 『私を幻想的な画家と呼ばないでほしい。』		☐ パワーポイント データもしくは 作品画像ラミネート

：	「シャガールは、愛する家族や自分の育った街をたくさん絵に描きました。」	※シャガールの家族や故郷を描いた作品を紹介する。	
：	「育った時代には悲しい出来事もあったけれど、身の回りに目を向けてみると、素敵なものに囲まれていることに気づいたんだね。」	・《誕生日》1915年 ・《散歩》1917年 ・《街の上で》1917-1918年 ・《私と村》1911年	
～	まとめ：1分		
：			
実施日時	年 月 日 () 準備開始	：	～
	2校時	：	～
	3校時	：	～
	4校時	：	～
場 所	学校 会場 ()	組 名	
人 数	年生 クラス	名+	名
進 行	美術館：		
当日準備	☐ PC等の準備をする ☐ パズルの数を確認する ☐ 複製画/パネルを隠しておく		
事後学習	・活動の感想を書く。 ・自分の大切な人への思いを含めた作品をつくる。 等		

会場図



《二つの花束》全体での鑑賞時

